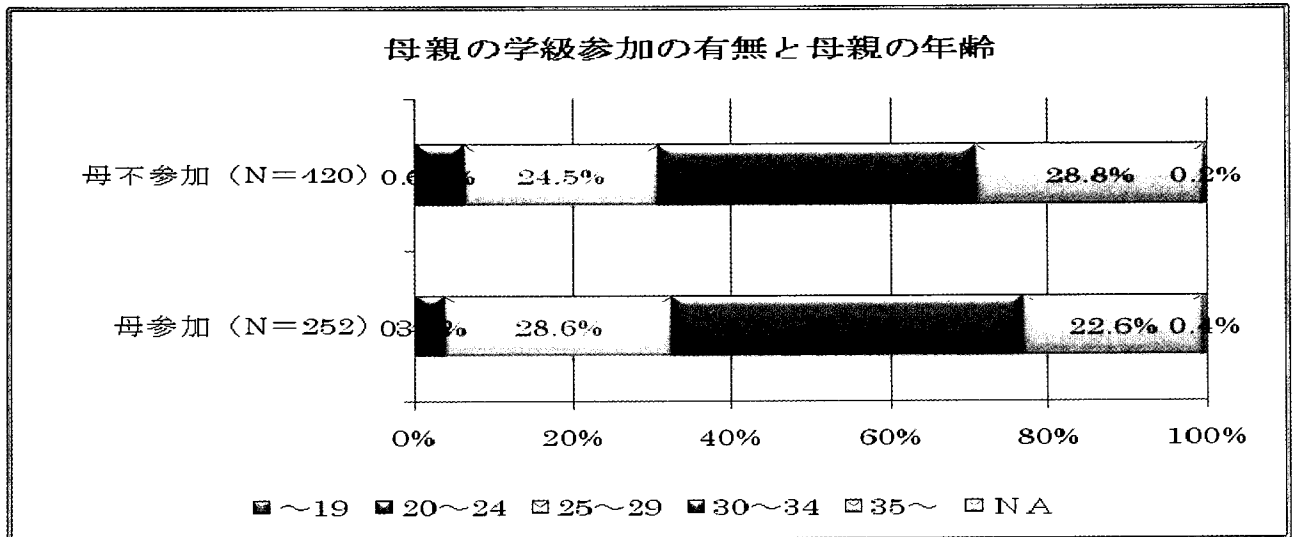


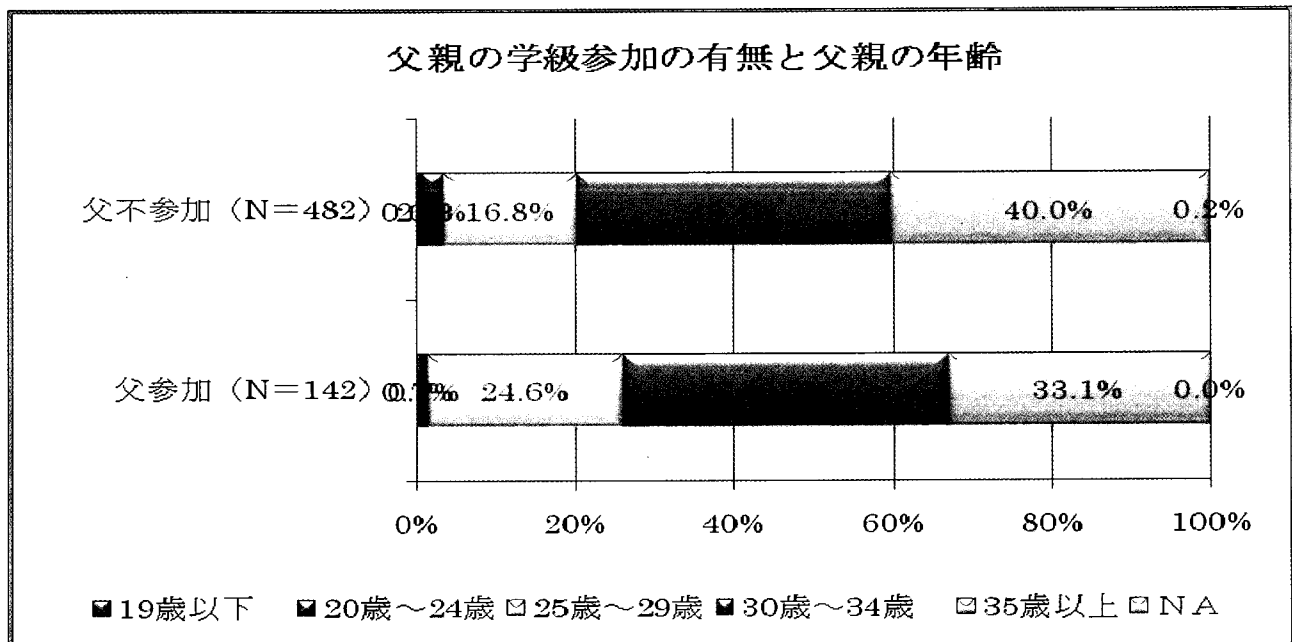
②「2 か月児の会」利用者の母親学級参加状況

「2 か月児の会」利用者のうち、母親の学級参加の有無と母親の年代を図VI-2 に、父親の学級参加の有無と父親の年代を図VI-3 に示した。母親、父親ともに参加群は不参加群に比べ「35歳以上」の年代層の割合が低い傾向にある。これは、母親学級には初産の参加者が多いためであると考えられる。

図VI-2 母親の母親学級受講状況と母親の年齢



図VI-3 父親の母親学級受講状況と父親の年齢



2. 喫煙・飲酒についての知識とその継続状況

①知識の継続

出産後2カ月時点における喫煙・飲酒知識の継続状況を評価するため、「2M・参加群」の喫煙・飲酒知識を図VI-4・図VI-5に示した。

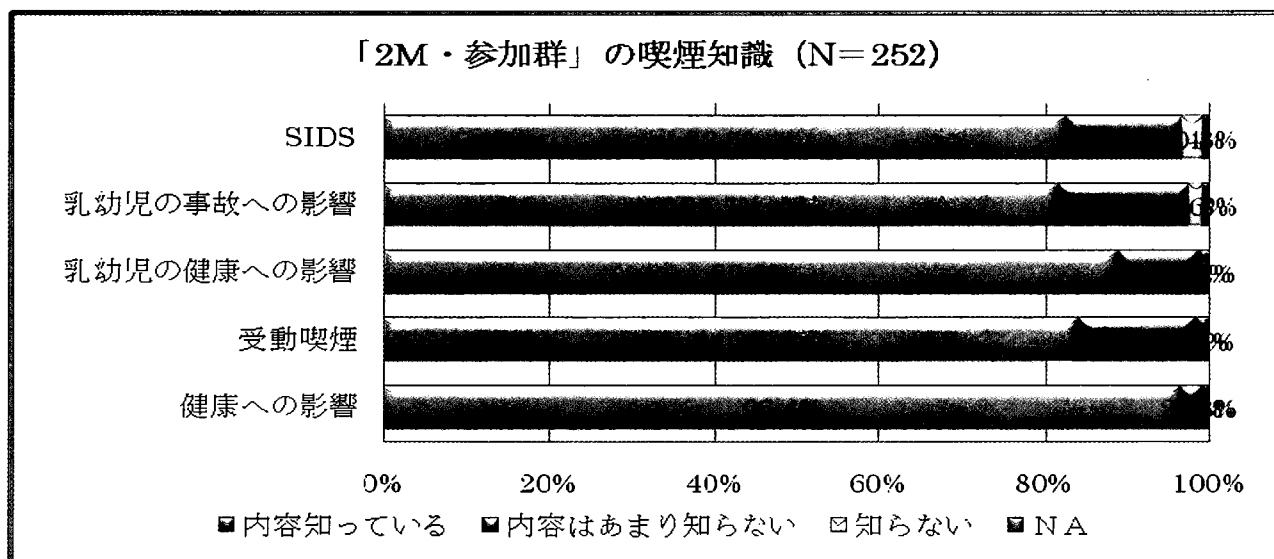
喫煙知識について「2M・参加群」は、出産後2か月の時点においても「健康への影響」「受動喫煙」「乳幼児の健康への影響」「SIDS」の全ての項目で、80%以上が「以前よりよく知っている」と回答している。

飲酒知識についても「2M・参加群」は、「健康への影響」「未成年者への影響」「乳幼児への影響」の全ての項目で、60%以上が「以前よりよく知っている」と回答している。

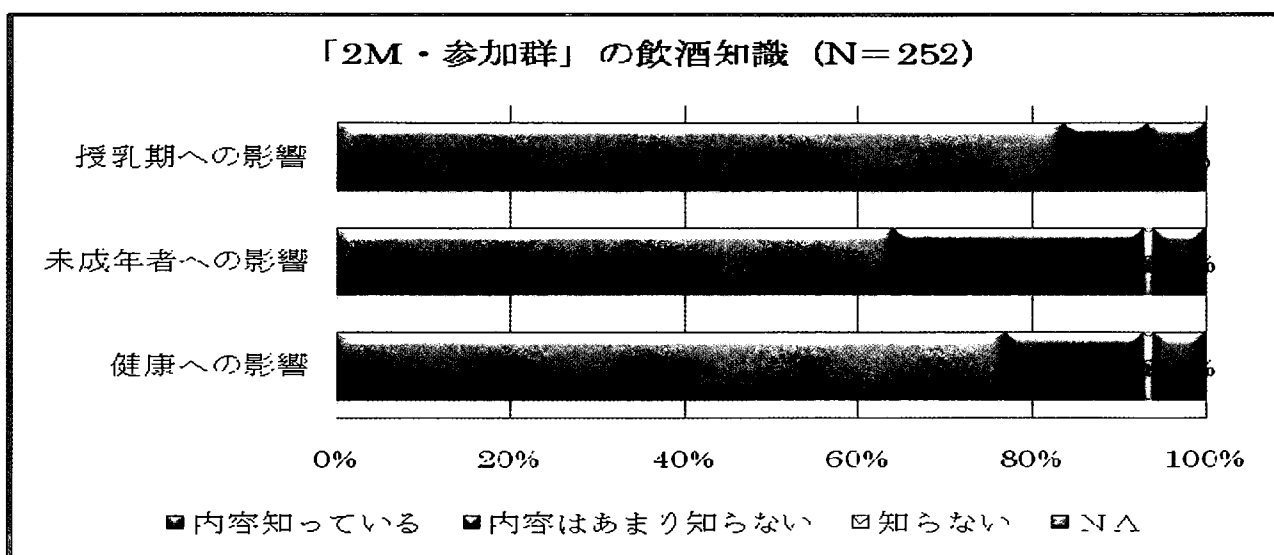
母親学級において、「妊娠中の喫煙・飲酒についての健康教育」を実施した直後の理解状況は、喫煙については各項目65%以上が（p19）、飲酒については59%以上が（p38）、「よく理解できた」と回答している。

このことから、「妊娠中の喫煙・飲酒についての健康教育」について、健康教育で得られた知識は、出産後2か月の時点においても継続していると考えられる。

図VI-4 「2M・参加群」の喫煙知識



図VI-5 「2M・参加群」の飲酒知識

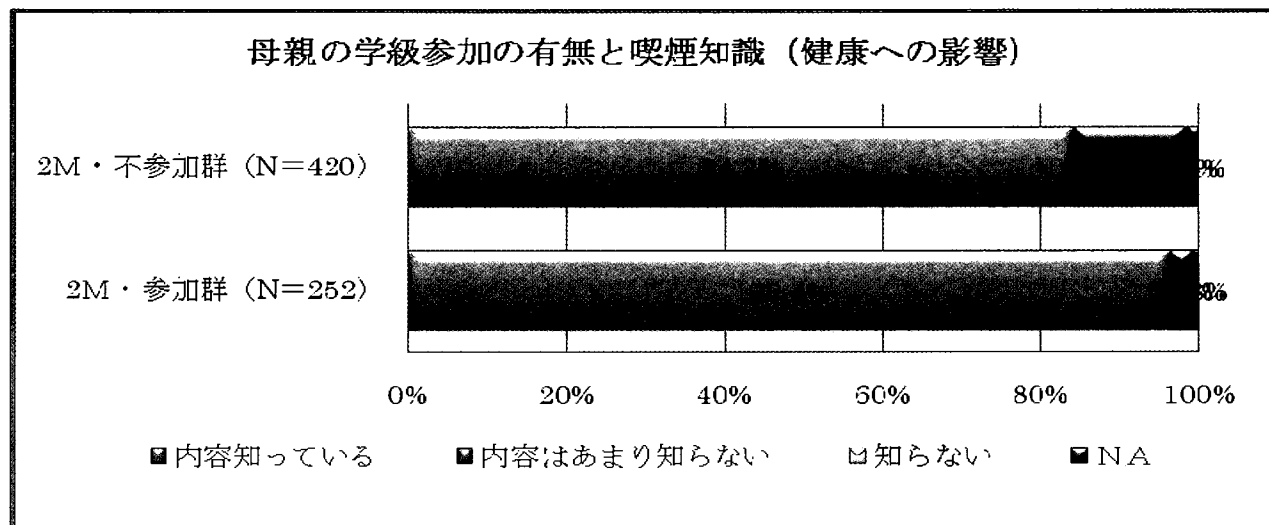


②「妊娠中の喫煙についての健康教育」の有無とその知識

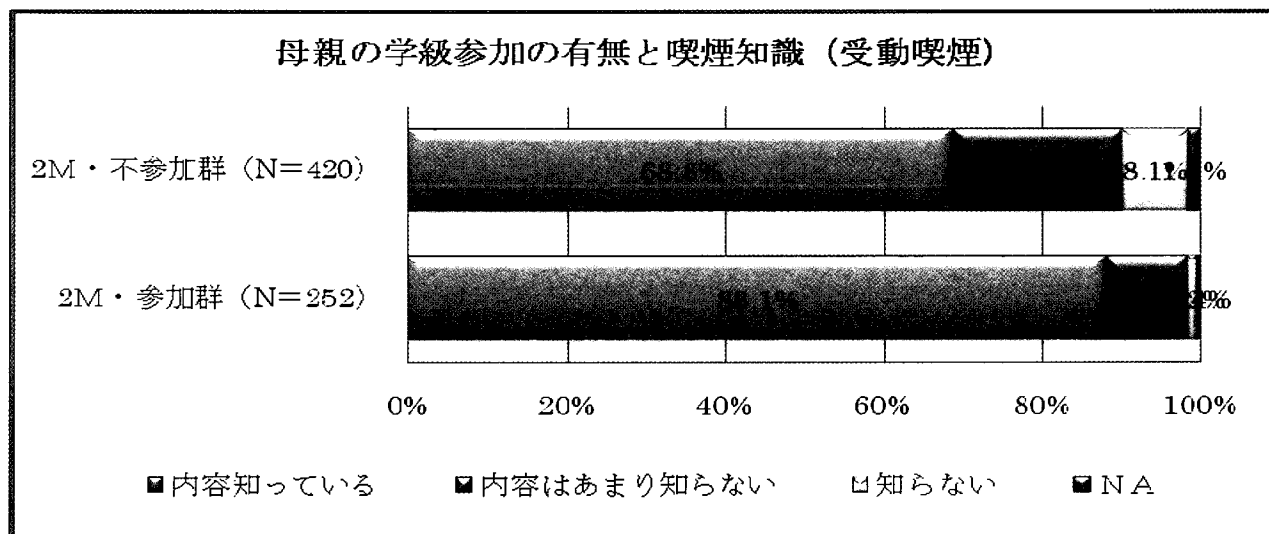
「2M・参加群」「2M・不参加群」の喫煙知識を比較し、図VI-6～図VI-10に示した。

全ての項目で「2M・参加群」は「2M・不参加群」より「以前よりよく知っている」と回答した割合が高く、14%～30%の開きがある。特に「SIDS」については「以前よりよく知っている」と回答した割合の差が大きく、「2M・参加群」の方が30.4%高い割合である。

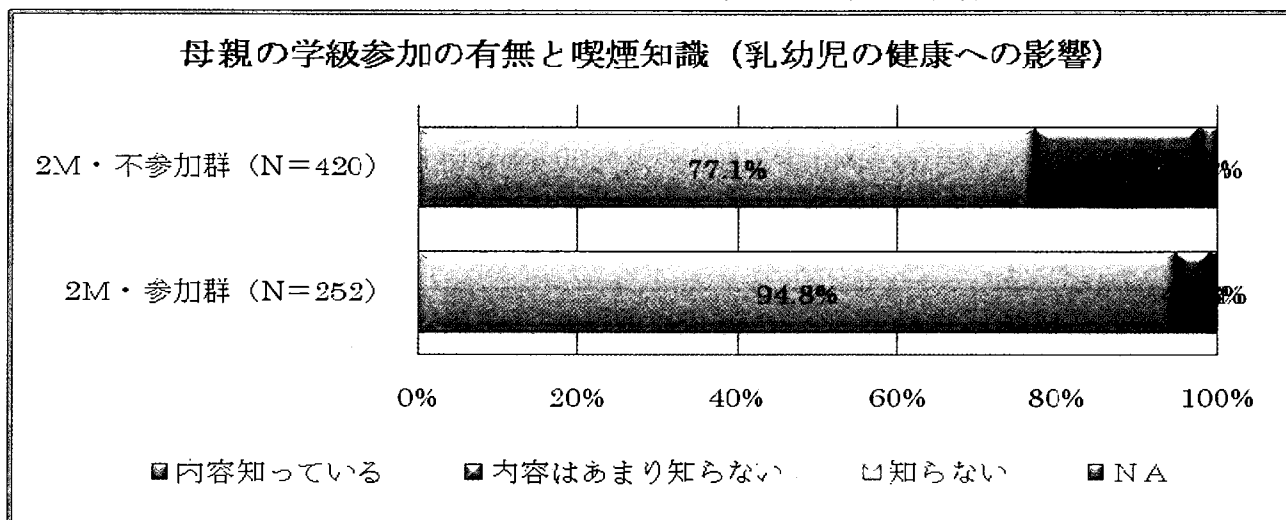
図VI-6 喫煙教育の有無による出産後の喫煙知識（健康への影響）



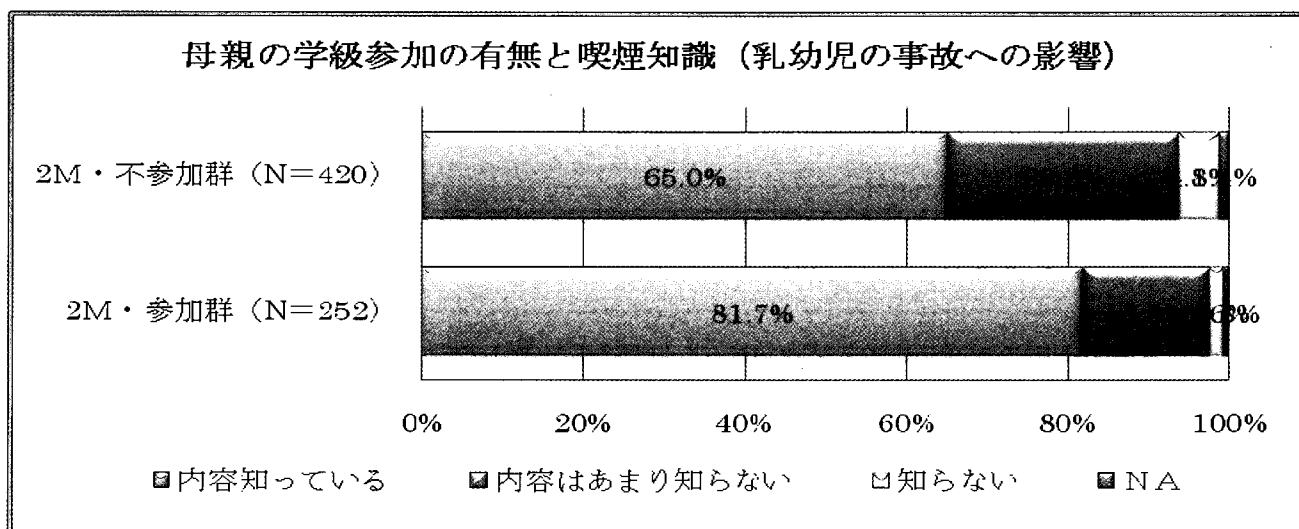
図VI-7 喫煙教育の有無による出産後の喫煙知識（受動喫煙）



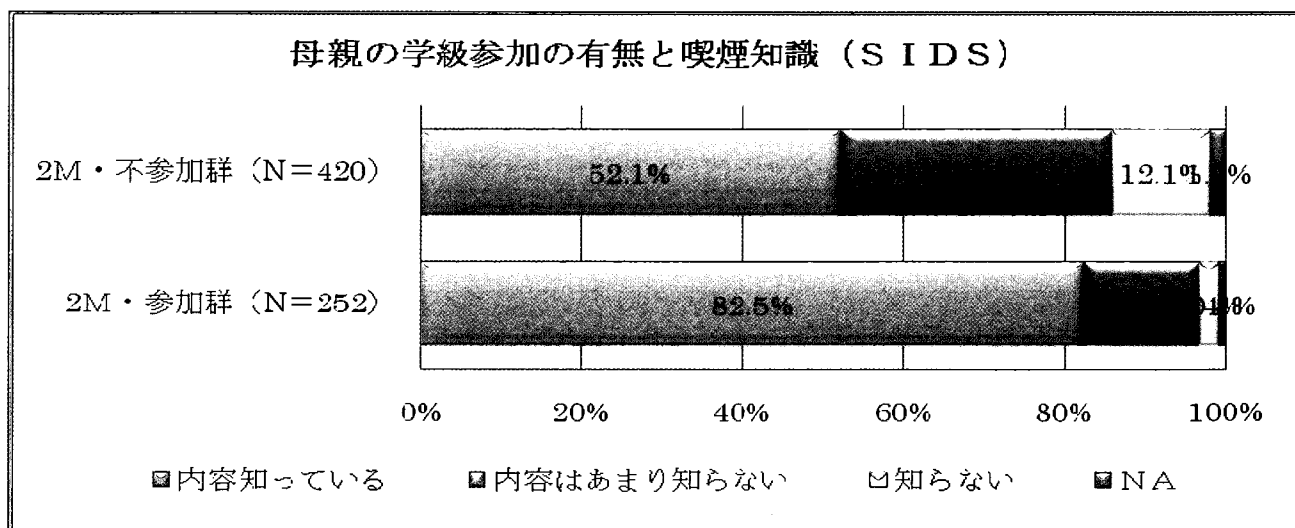
図VI-8 喫煙教育の有無による出産後の喫煙知識（乳幼児の健康への影響）



図VI-9 喫煙教育の有無による出産後の喫煙知識（乳幼児の事故への影響）



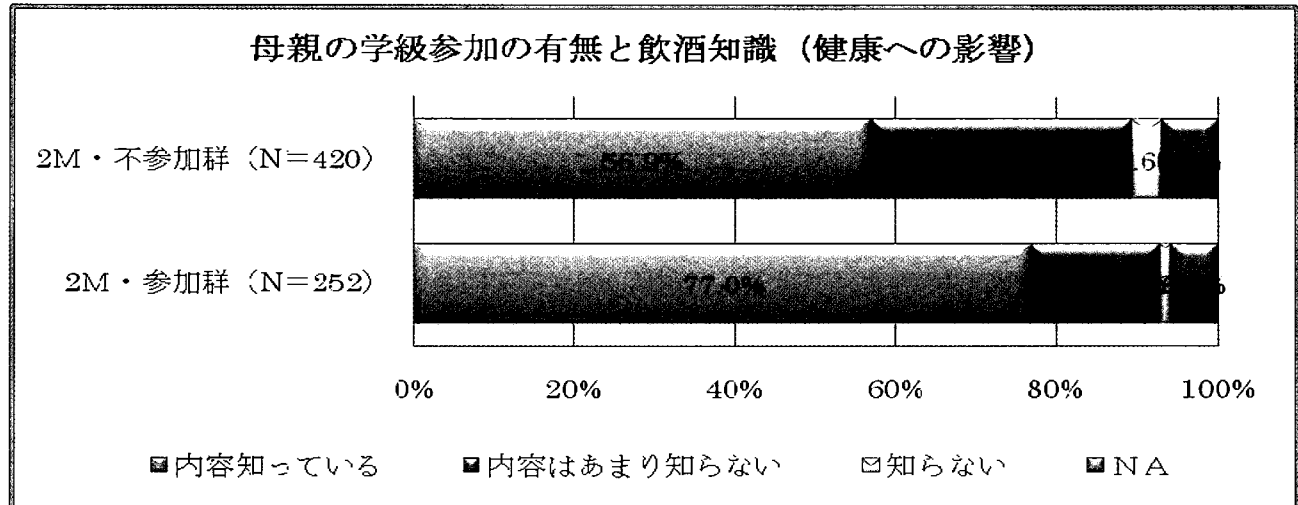
図VI-10 喫煙教育の有無による出産後の喫煙知識（SIDS）



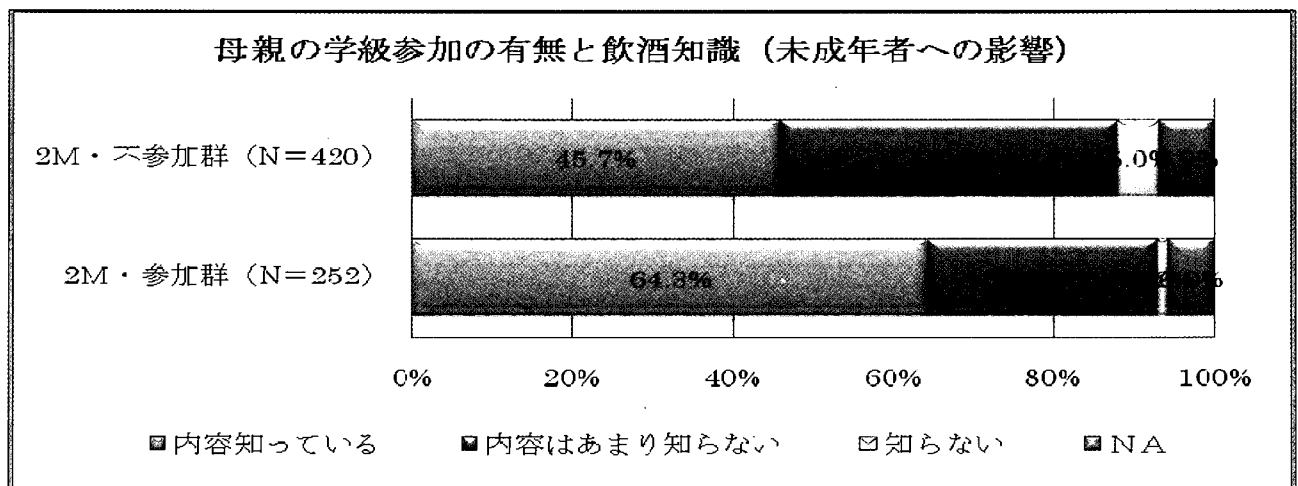
③「妊娠中の飲酒についての健康教育」の有無とその知識

「2M・参加群」と「2M・不参加群」の飲酒知識を比較し、図VI-11～図VI-13に示した。全ての項目で「2M・参加群」は「2M・不参加群」より「以前よりよく知っている」と回答した割合が高く、20%程度の開きがある。

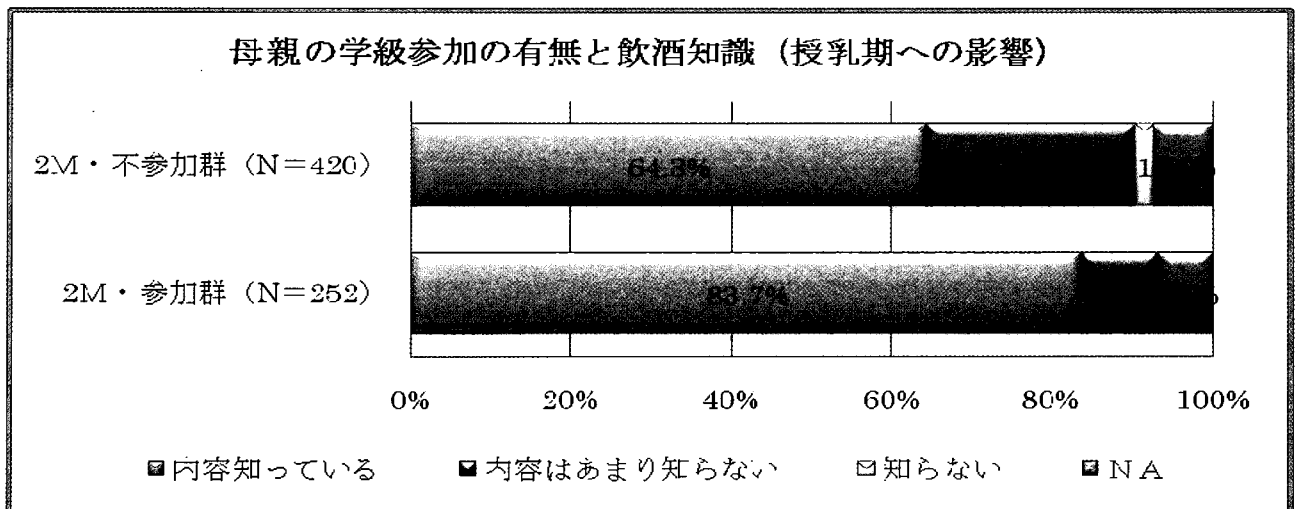
図VI-11 飲酒教育の有無による出産後の飲酒知識（健康への影響）



図VI-12 飲酒教育の有無による出産後の飲酒知識（未成年者への影響）



図VI-13 飲酒教育の有無による出産後の飲酒知識（授乳期への影響）



④喫煙・飲酒知識の比較（母親学級受講者の教育前の知識（以下「母親学級教育前」という）・「2M・参加群」・「2M・不参加群」）

喫煙・飲酒の知識を、「母親学級教育前」・「2M・参加群」・「2M・不参加群」の3群で比較し、図VI-14・図VI-15に示した。

「2M・参加群」と「2M・不参加群」の喫煙・飲酒知識を比較すると、全ての項目で「2M・参加群」は「2M・不参加群」より「以前よりよく知っている」と回答した割合が高く、14%～30%の開きがある。

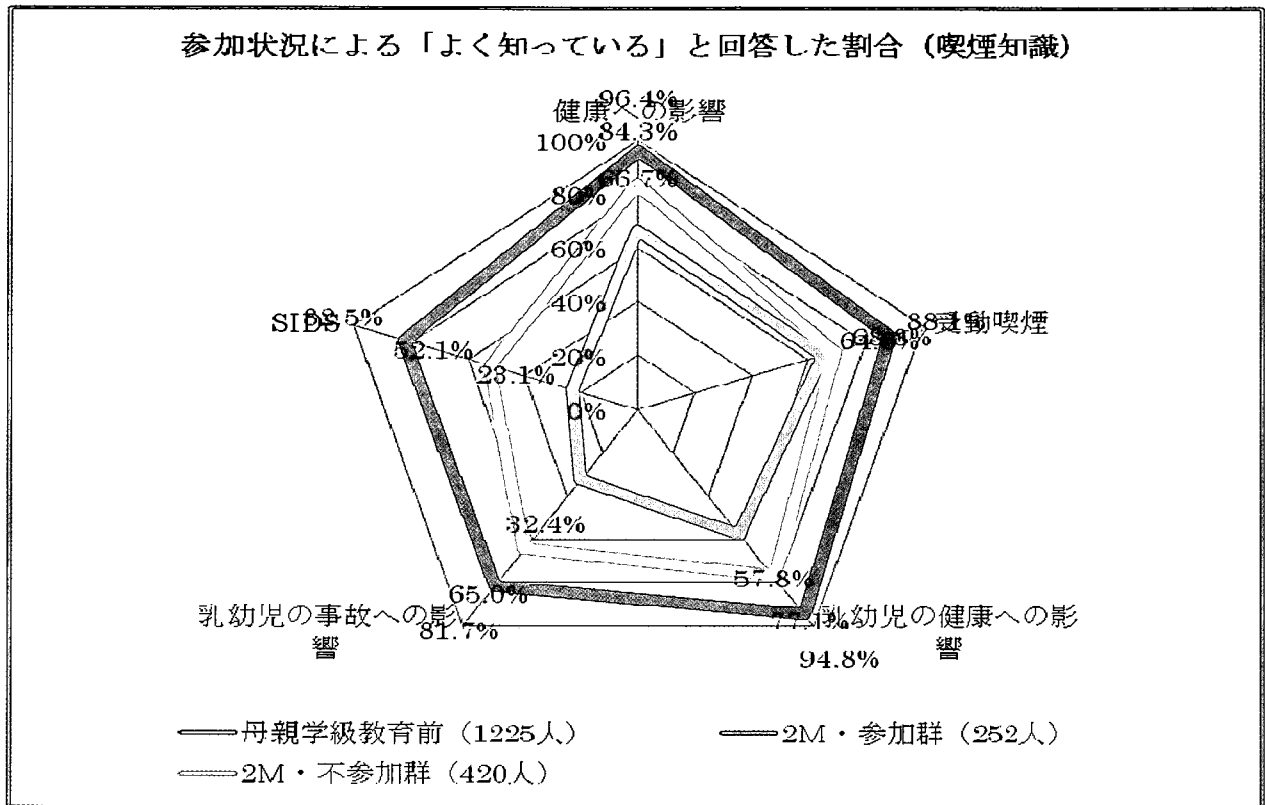
一方、「2M・不参加群」と「母親学級教育前」との比較では、両群とも「妊娠中の喫煙・飲酒についての健康教育」を受講していないにもかかわらず、「2M・不参加群」に「以前よりよく知っている」と回答した割合が高い。

「2M・不参加群」と「母親学級教育前」の両群は、妊娠中に喫煙・飲酒についての教育を受けていないにもかかわらず、「2M・不参加群」に知識があると回答する割合が高い。その理由として、以下の3点が考えられる

- 1 「2M・不参加群」には、喫煙・飲酒についての教育をしないでアンケートを取っており、「母親学級教育前」には、教育直後に受講前の自身の知識を振り返って記載しているための差である可能性があること、
- 2 「2M・不参加群」は妊娠中の生活の見直しやマタニティーに関する情報収集、出産後の育児を通して、知識を獲得しており、知識が備わっている可能性がある。
- 3 「2M・不参加群」に対しては教育を実施していないため正確な知識を持っていないにもかかわらず、知識を持っていると思い込みをしている可能性がある。

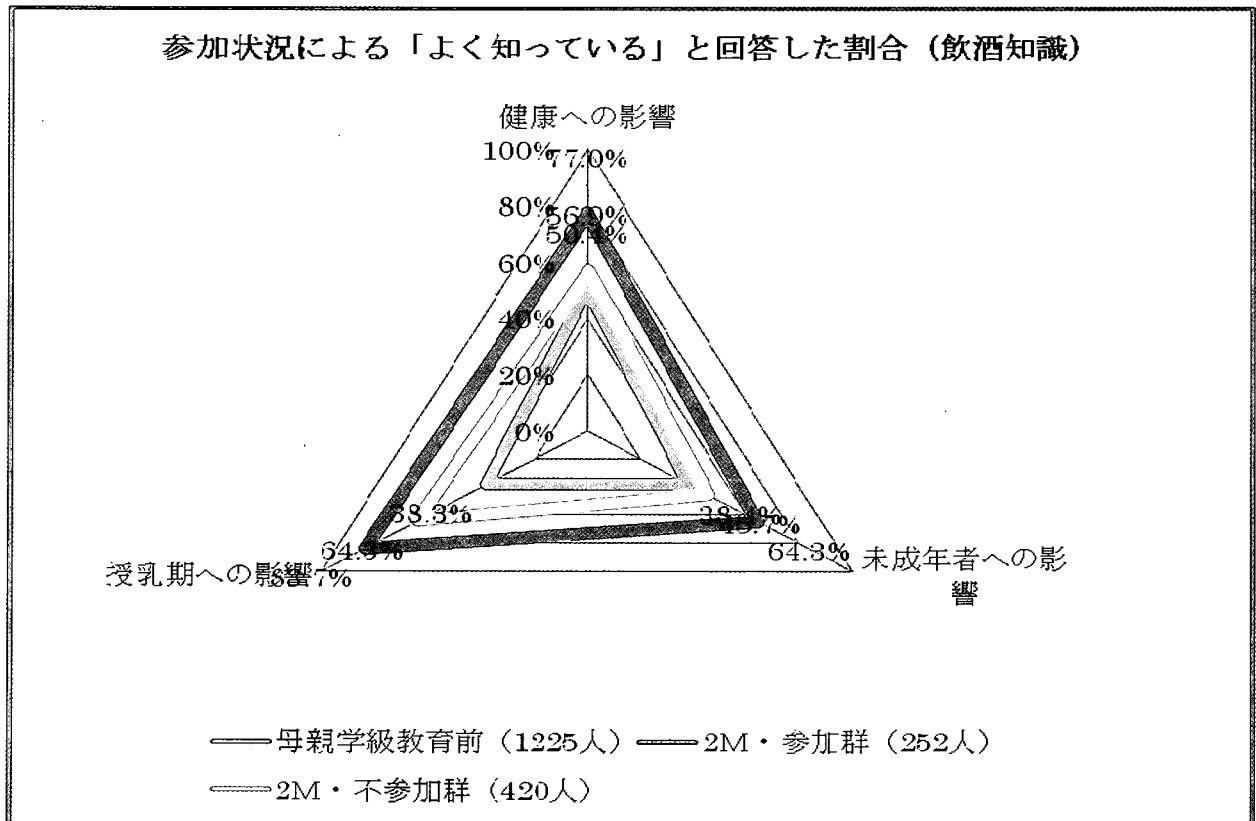
図VI-14 喫煙知識の比較

(「母親学級教育前」・「2M・参加群」・「2M・不参加群」)



図VI-15 飲酒知識の比較

(「母親学級教育前」・「2M・参加群」・「2M・不参加群」)



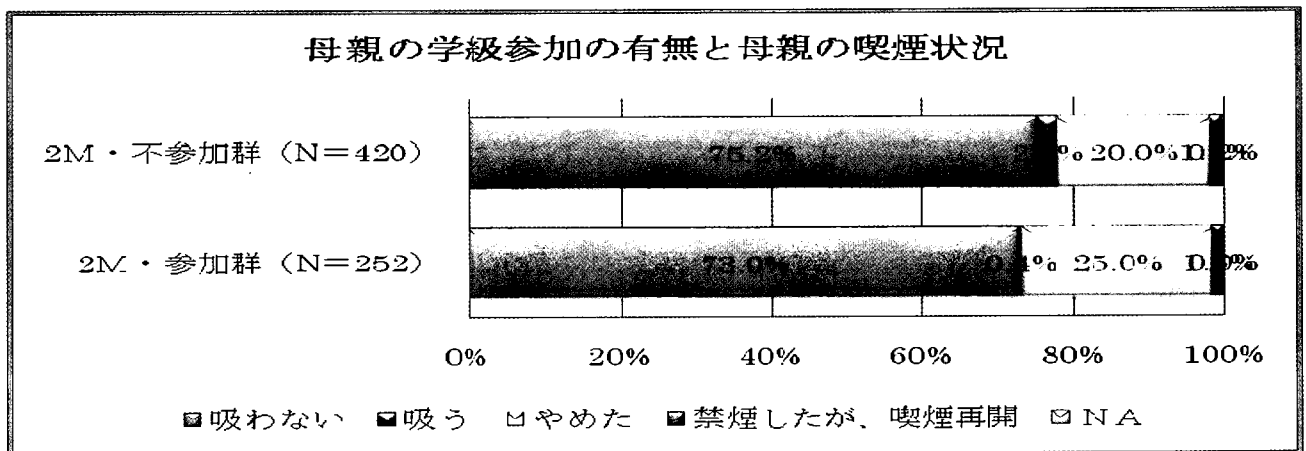
3. 行動変容

健康教育後の行動変容とその持続状況を、出産後2か月時点の母親の喫煙状況・母親の飲酒状況および父親の喫煙の場所で評価した。

①母親の喫煙状況

出産後2か月時点における母親の喫煙状況を図VI-16に示した。「2M・参加群」・「2M・不参加群」とも4分の3は喫煙していない。「2M・参加群」には「喫煙している」者が1人、「禁煙したが、喫煙再開した」者は1人いる。「2M・不参加群」には「喫煙している」者は5人、「禁煙したが、喫煙再開した」者は3人いる。

図VI-16 「2M・参加群」・「2M・不参加群」の喫煙状況

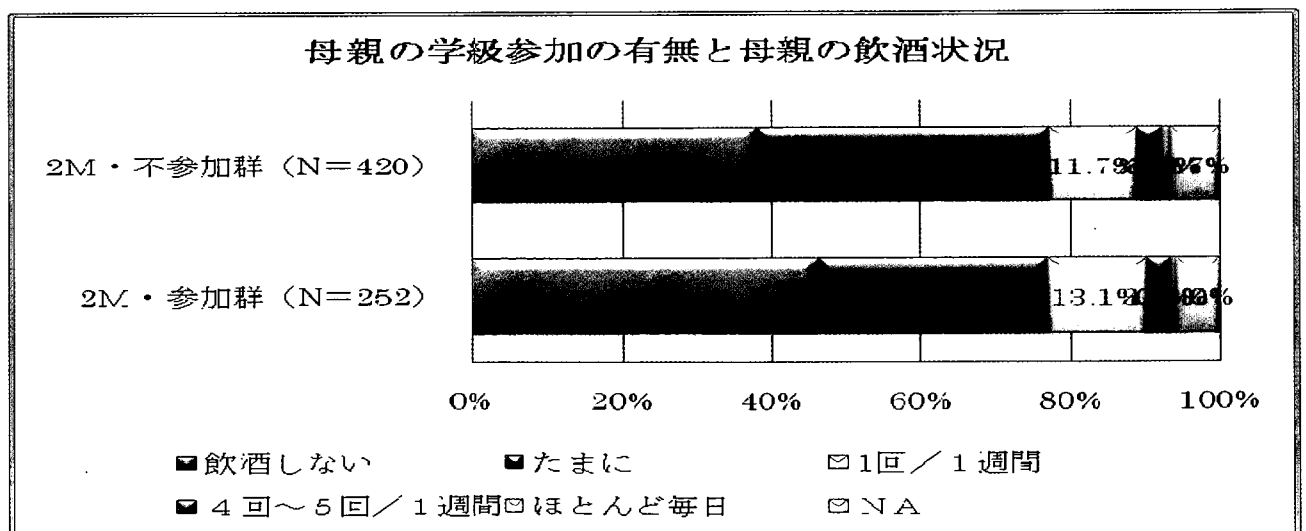


②母親の飲酒状況

出産後2か月時点における母親の飲酒状況を図VI-17に示した。「飲酒しない」と回答したのは、「2M・参加群」46.4%、「2M・不参加群」38.1%と、「2M・参加群」に飲酒しない割合が高く12%の開きがある。

母乳育児の割合は「2M・参加群」と「2M・不参加群」に差は認められなかったことから、産後の飲酒状況の差は健康教育の効果と考えられる。母親学級の教育は、母親への行動変容を促し、出産後2か月時点において持続していることがわかった。

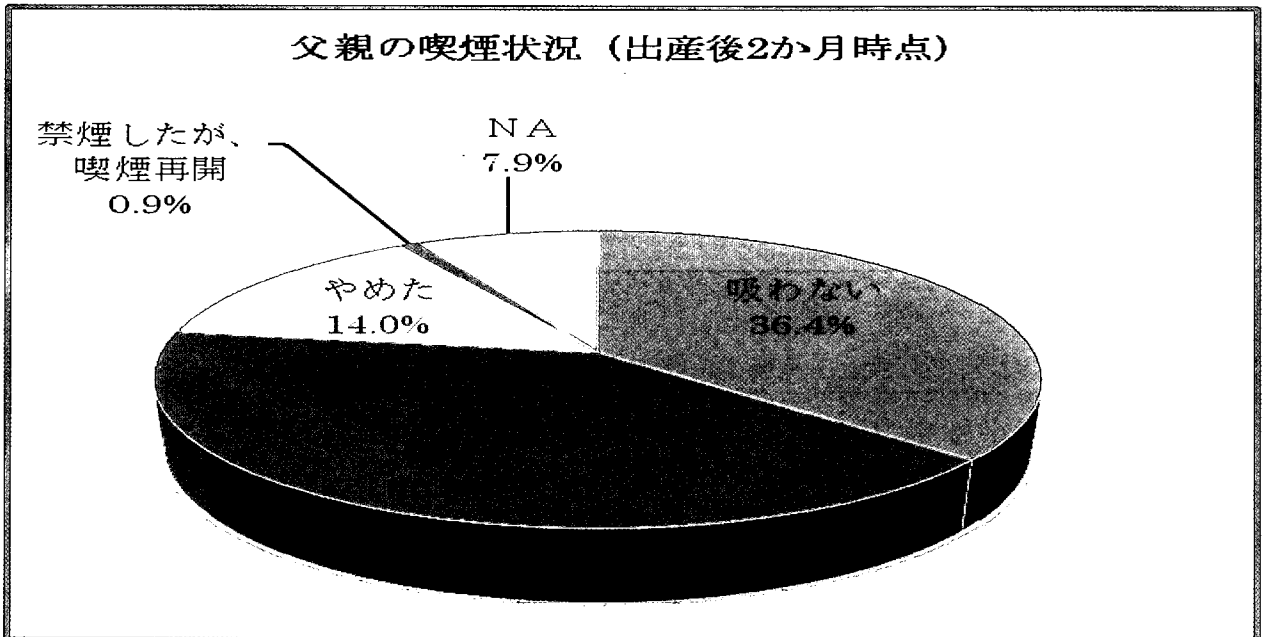
図VI-17 「2M・参加群」・「2M・不参加群」飲酒状況



③父親の喫煙状況と喫煙場所

出産後2か月時点の父親の喫煙状況を、図VI-18に示した。出生後2か月の乳児のいる家庭において、父親の50.4%と半数は非喫煙者であり、喫煙者は41.8%と4割以上を占める。

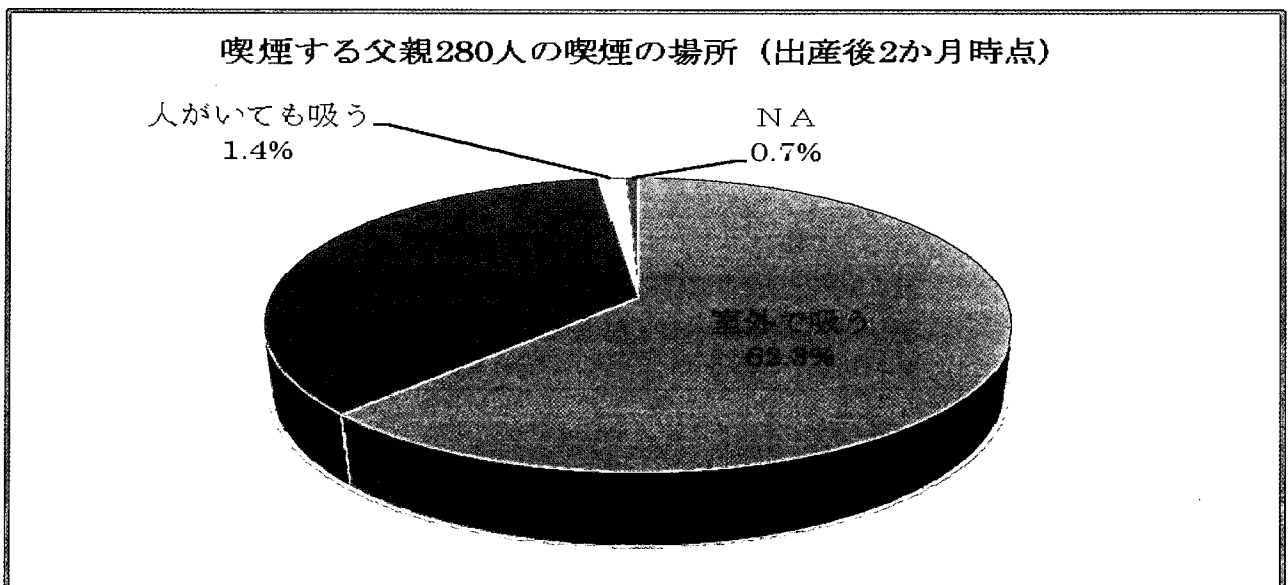
図VI-18 出産後2ヶ月時点の父親の喫煙状況



④父親の喫煙の場所

出産後2か月時点で父親が喫煙している280人の喫煙の場所を、図VI-19に示した。「室外で吸う」と回答したのは、62.3%であり、37.0%は室内または、人がいても吸うと回答している。

図VI-19 出産後2ヶ月時点の喫煙する父親の喫煙の場所



⑤母親学級参加の有無と父親の喫煙の場所

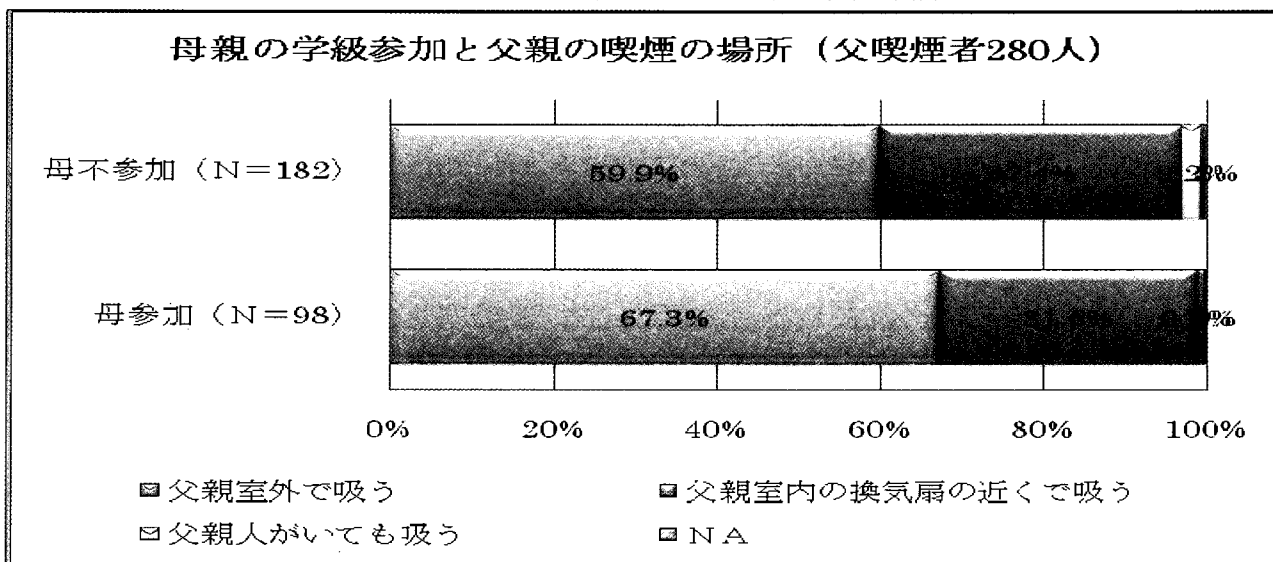
父親が喫煙している 280 人の喫煙場所を学級参加の有無で評価し、図VI-20・図VI-21 に示した。

母親の学級参加の有無と父親の喫煙の場所との関係は、母親の学級参加、不参加で「室外で吸う」「室内の換気扇の近くで吸う」の割合は 7%の差がある。(図VI-20) 一方、父親の学級参加、不参加と父親の喫煙の場所との関係は、父親が母親学級に参加した群の方が参加しない群に比べ「室内の換気扇の近くで吸う」と回答した割合が低く、「室外で吸う」と回答した割合が高く 20%以上の開きがある。

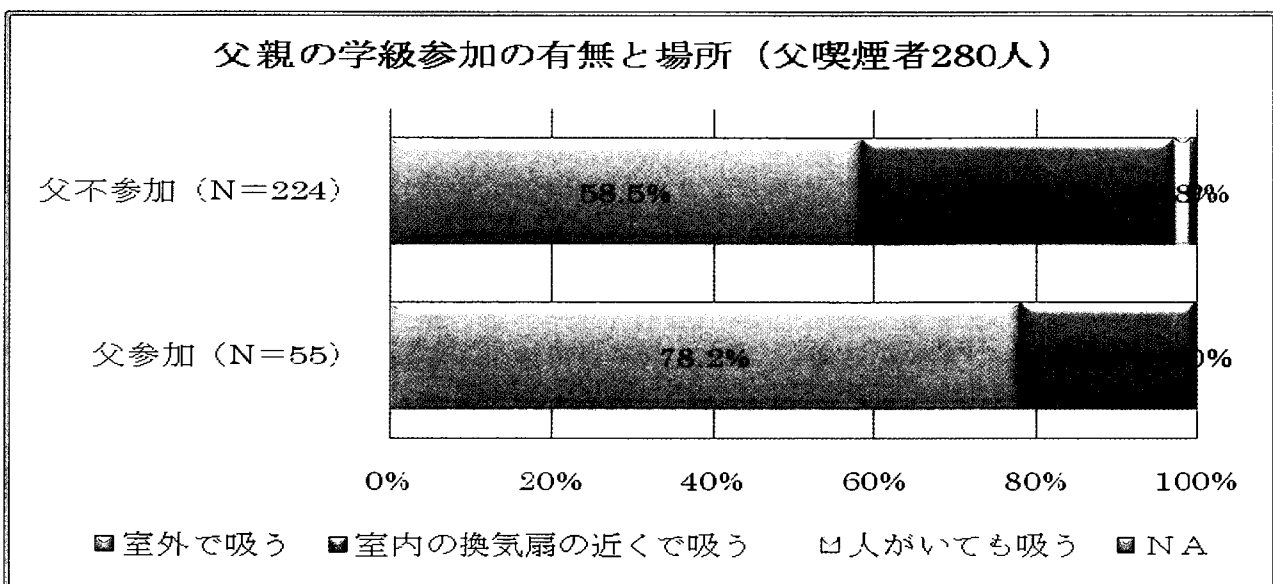
父親が学級参加し、直接教育をうけた群については、喫煙の場所についての行動変容は継続しており、今回のプログラムは直接当事者に教育することにより効果があったと思われる。

しかし、父親が喫煙の教育を受けている群でも 21.8%は、「室内の換気扇の近くで喫煙する」と回答していることから、喫煙者の親に対しては、喫煙が乳幼児に影響する害についての教育を妊娠中だけではなく、機会ある毎に行っていく必要がある。

図VI-20 母親の喫煙教育の有無と出産後 2 ヶ月時点の父親の喫煙場所



図VI-21 父親の喫煙教育の有無と出産後 2 ヶ月時点の父親の喫煙場所

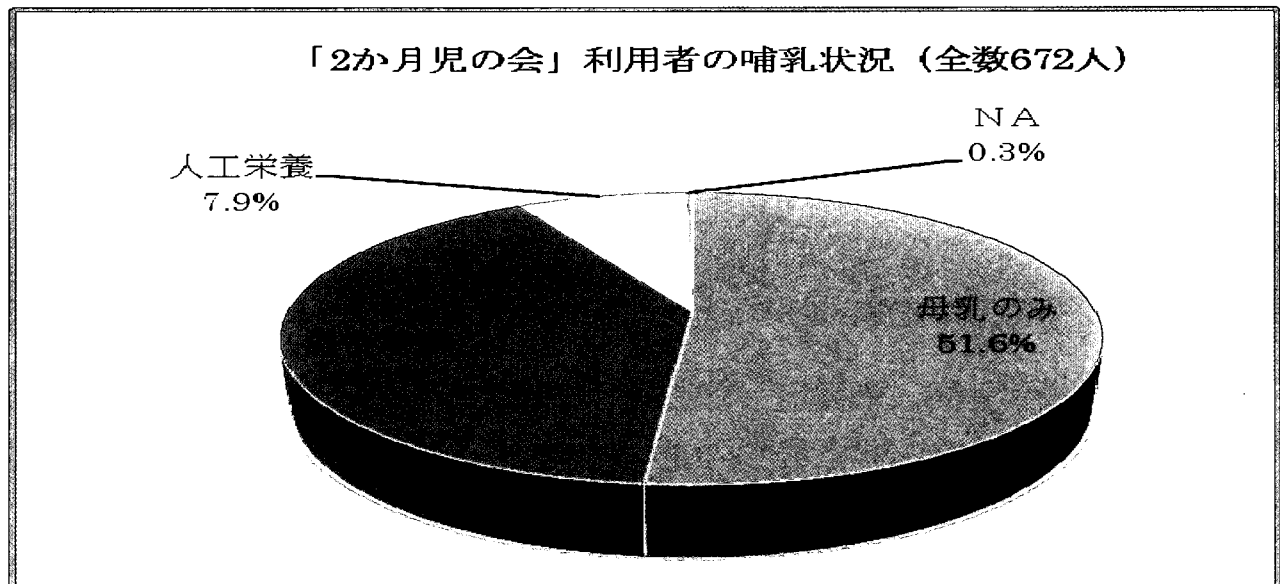


4. 出産後2か月時点の哺乳状況

①哺乳状況

出産後2か月の時点の哺乳状況を図VI-22に示した。「母乳のみ」は51.6%であり、全体の半数を占める。「混合栄養」を含む母乳育児の割合は91.9%である。

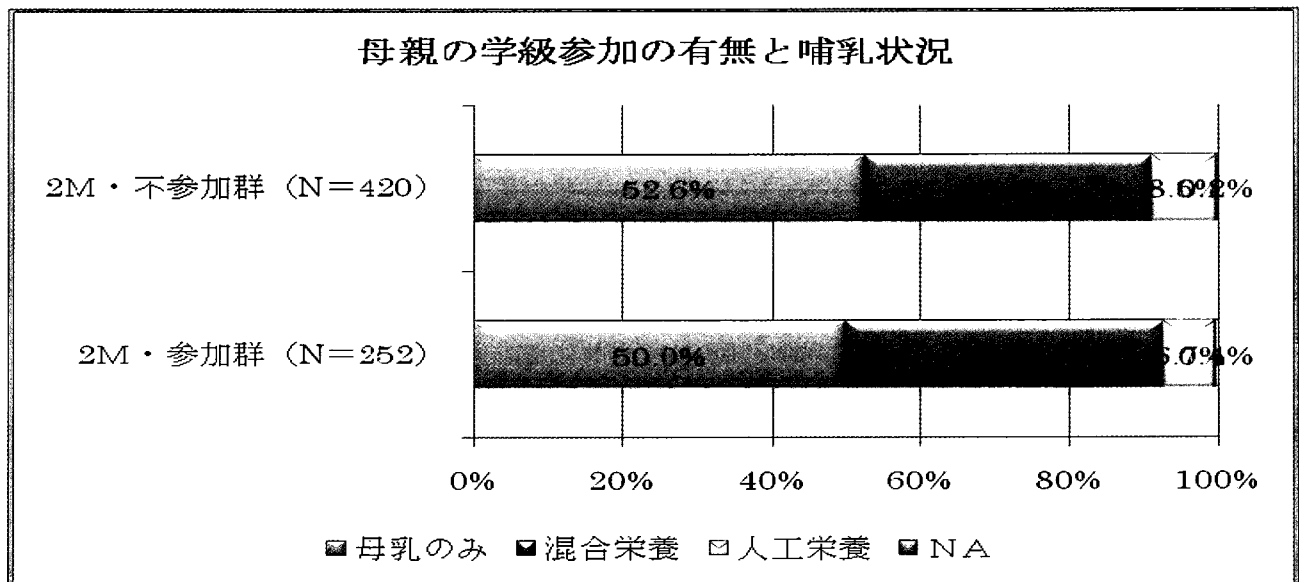
図VI-22 出産後2ヶ月の哺乳状況



②「2M・参加群」・「2M・不参加群」の哺乳状況の比較

「2か月児の会」利用者の哺乳状況を、「2M・参加群」と「2M・不参加群」に分類し図VI-23に示した。「2M・参加群」・「2M・不参加群」に哺乳状況の差は認められない。

図VI-23 「2M・参加群」・「2M・不参加群」の哺乳状況



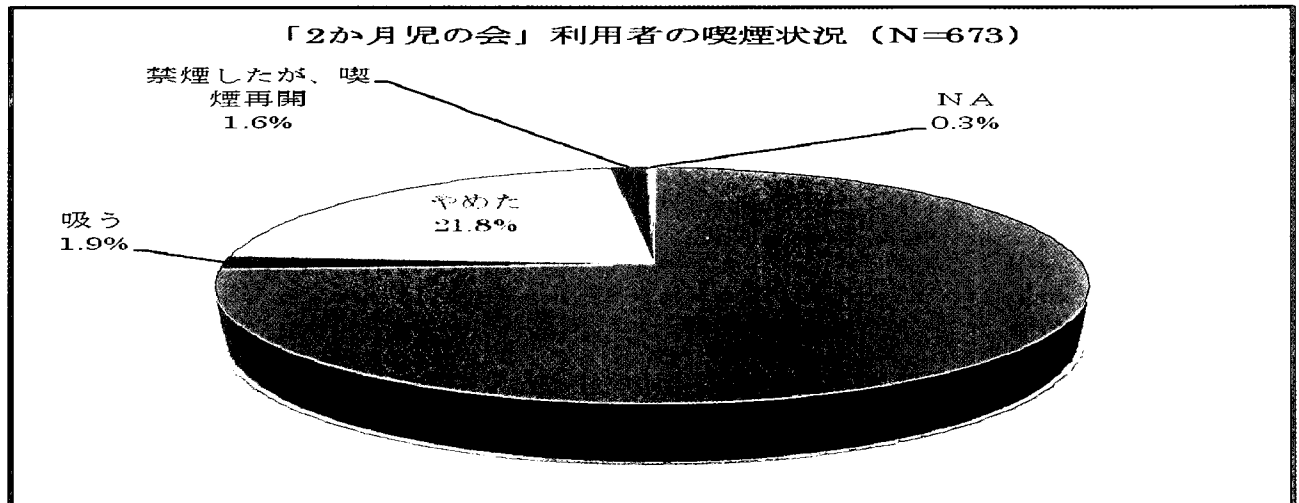
③ 哺乳状況と母親の喫煙状況（「2M・参加群」・「2M・不参加群」の比較）

2 か月児の会利用者の母親の喫煙状況を図VI-24 に示した。

出産後 2 か月時点の母親で、「吸わない」は 74.3%、「止めた」は 21.8%であり、非喫煙者（好ましい行動をとっている）の割合は 96.1%である。

一方、「吸う」1.9%、「禁煙後再開」1.6%と出産後 2 か月時点で喫煙している割合は 3.5%である。

図VI-24 「2ヶ月児の会」利用者の喫煙状況



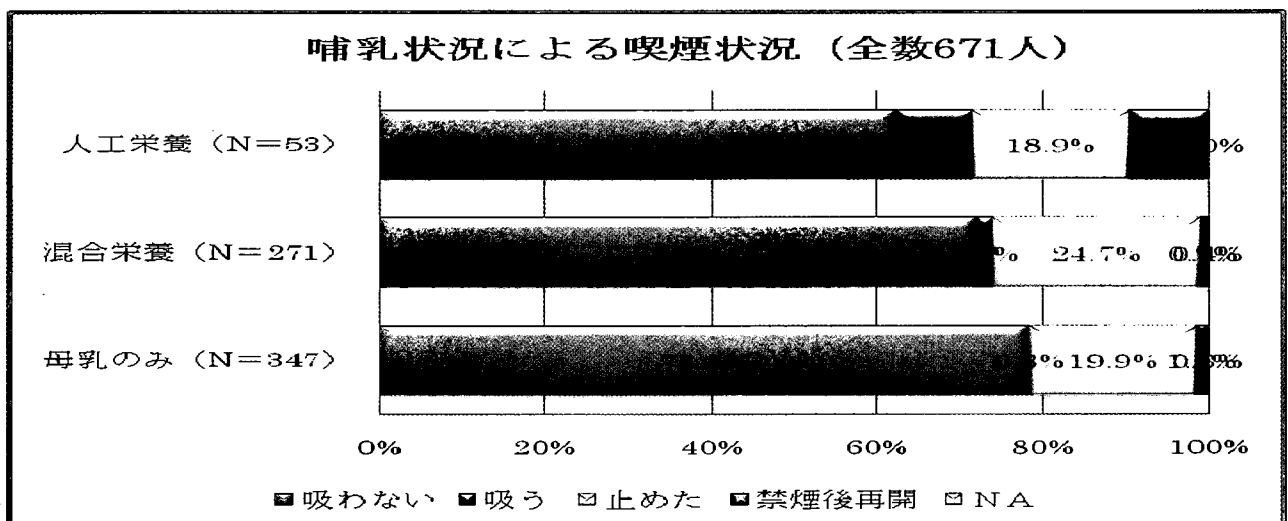
④ 哺乳状況と母親の喫煙状況

哺乳状況と喫煙状況の関係を図VI-25 に示した。回答者 673 人中、哺乳状況無回答 2 人を除く 671 人を評価の対象とした。

「たばこを吸わない」・「止めた」母親は、「母乳のみ」では 98.3%、「混合栄養」では 96.7%、「人工栄養」で 81.2%であり、産後 2 か月の時点で喫煙をしていない母親の割合は、「母乳のみ」に高く、「人工栄養」とは 17%の開きがある。

また、「吸う」「禁煙後再開」した喫煙者の割合は、人工栄養に最も高く 18.8%と 2 割近くを占める。

図VI-25 哺乳状況のちがいによる喫煙状況



⑤ 「2M・参加群」・「2M・不参加群」の喫煙状況と哺乳状況

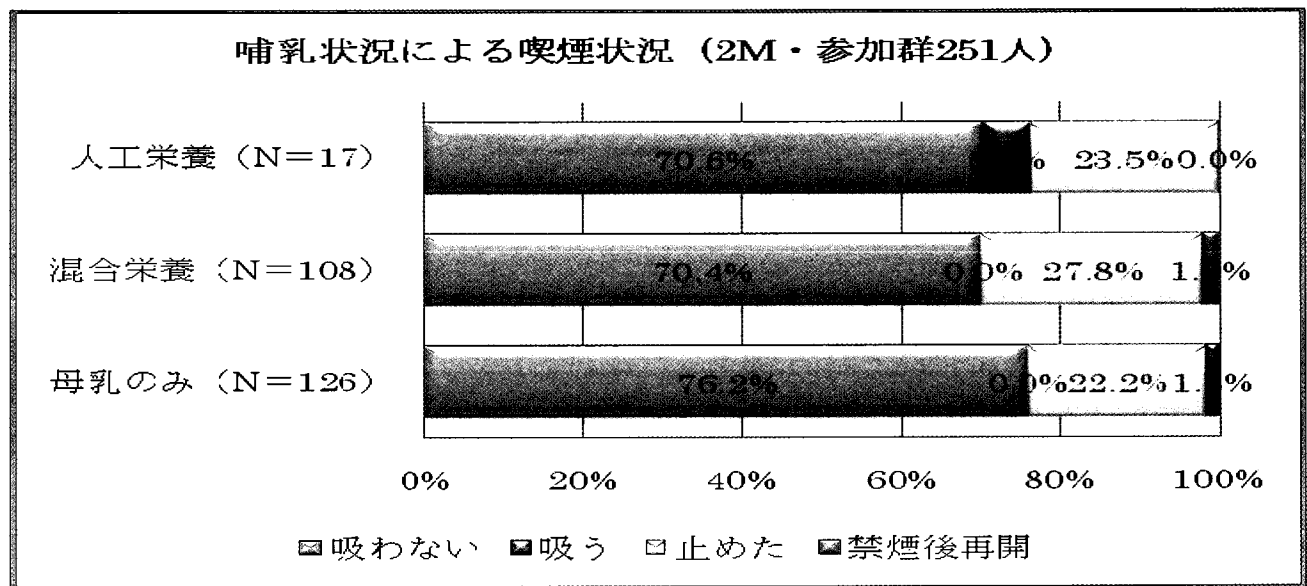
「2M・参加群」・「2M・不参加群」の喫煙状況を哺乳状況で分類し、図VI-26・図VI-27に示した。

「2M・参加群」・「2M・不参加群」とも「母乳のみ」「混合栄養」の母乳育児を行っている者には喫煙者の割合が低い。

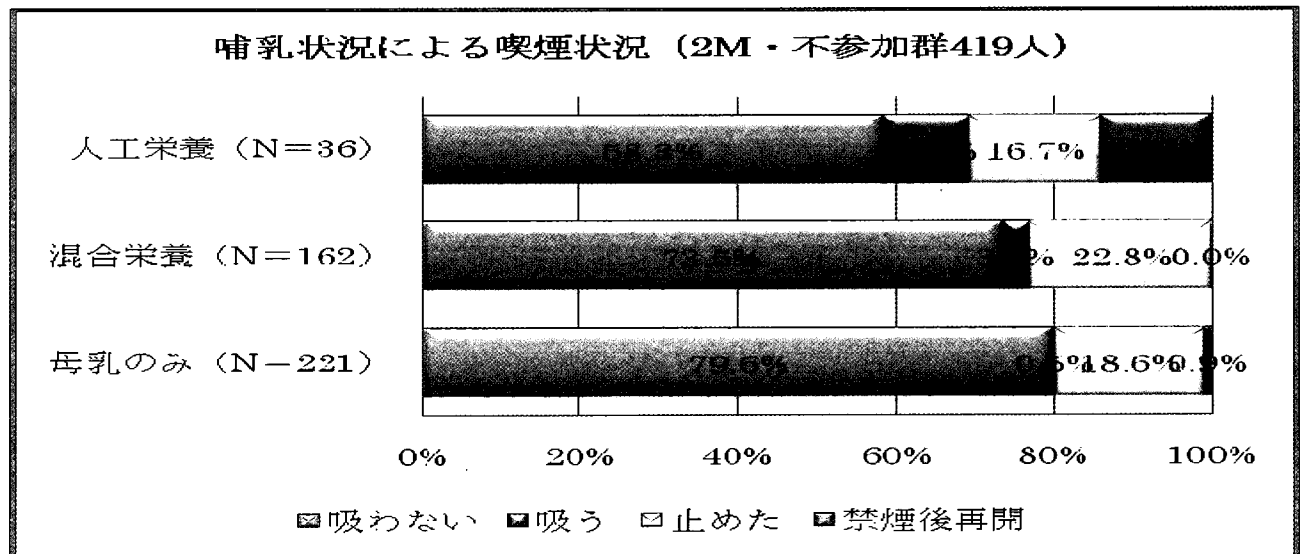
一方、「2M・参加群」の「人工栄養」では非喫煙者 94.1%喫煙者 5.9%に対して、「2M・不参加群」の「人工栄養」では非喫煙者 75.0%喫煙者 25.0%であり、「2M・不参加群」の「人工栄養」に喫煙者の割合が高い。

母乳を与えている「母乳のみ」「混合栄養」では喫煙者の割合が低いことから、母乳の中にニコチン成分が含まれることは周知されてきていると考えられる。一方、参加群の「人工栄養」に喫煙者の割合が高いことから、煙草の有害物質が換気扇からでは排除されないことはあまり知られていないものと考えられる。

図VI-26 「2M・参加群」の哺乳状況のちがいによる喫煙状況



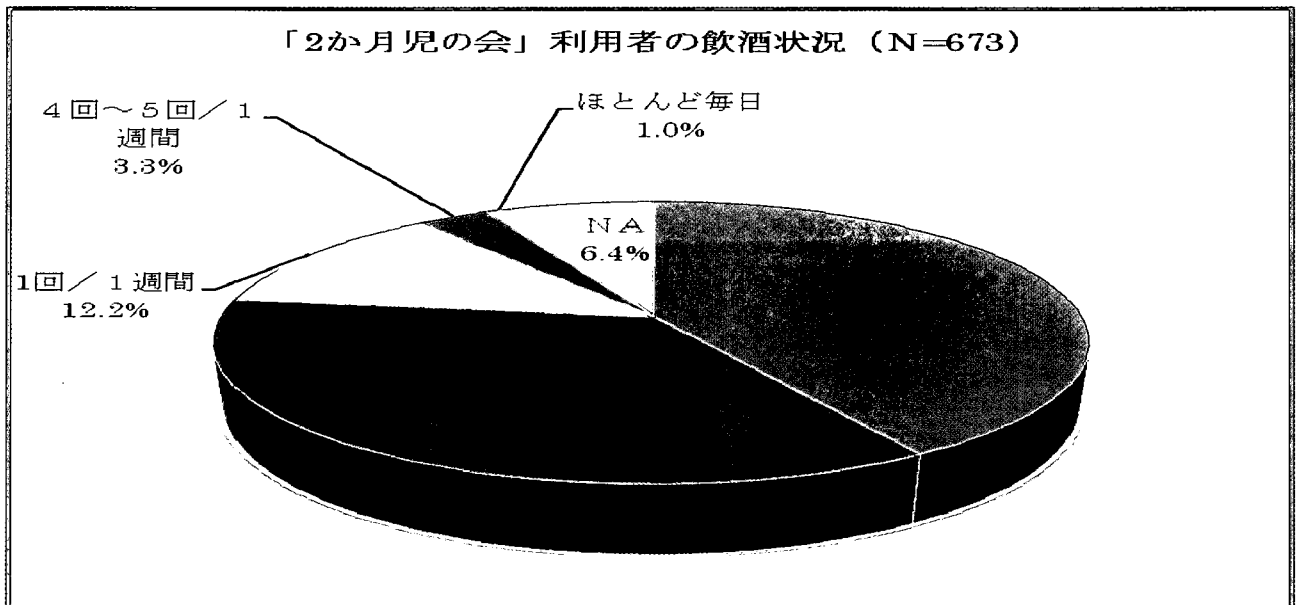
図VI-27 「2M・不参加群」の哺乳状況のちがいによる喫煙状況



⑥母親の飲酒状況

2 か月児の会利用者の母親の飲酒状況を図VI-28 に示した。飲酒していないのは 41.2%であるが、飲酒しているのは、52.5%である。さらに、週に 4 回以上飲酒しているのは 4.3%、39 人である。

図VI-28 「2ヶ月児の会」利用者の飲酒状況



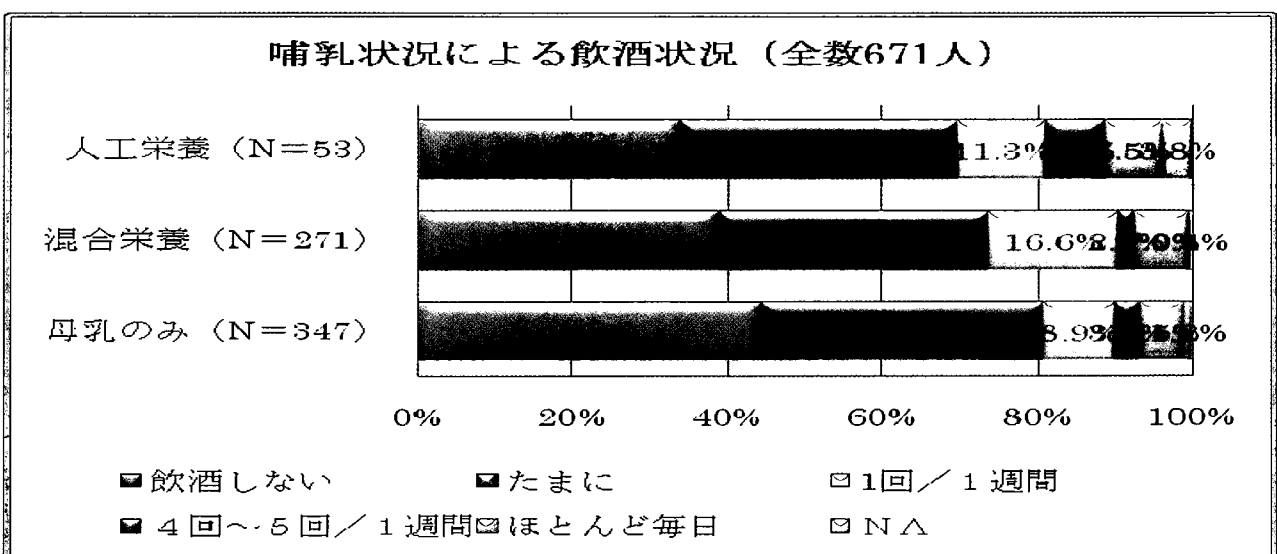
⑦哺乳状況と母親の飲酒状況

哺乳状況と母親の飲酒状況との関係を、図VI-29 に示した。

「飲酒しない」割合は「母乳のみ」に最も高く 44.4%、次に「混合栄養」38.7%、「人工栄養」34.0%である。「母乳のみ」と「人工栄養」とは 8%の開きがある。

母乳栄養、混合栄養の母乳育児を行なっている者のなかにも、週に 1 回以上飲酒している割合が 2 割ほど存在する。

図VI-29 哺乳状況のちがいによる飲酒状況



⑧ 「2M・参加群」・「2M・不参加群」の飲酒状況と哺乳状況

「2M・参加群」・「2M・不参加群」それぞれの飲酒状況を哺乳状況で分類し、図VI-30・図VI-31に示した。

「2M・参加群」では「飲酒しない」割合は「母乳のみ」に最も高く 50.8%であり、「混合栄養」43.5%「人工栄養」35.3%と続く。

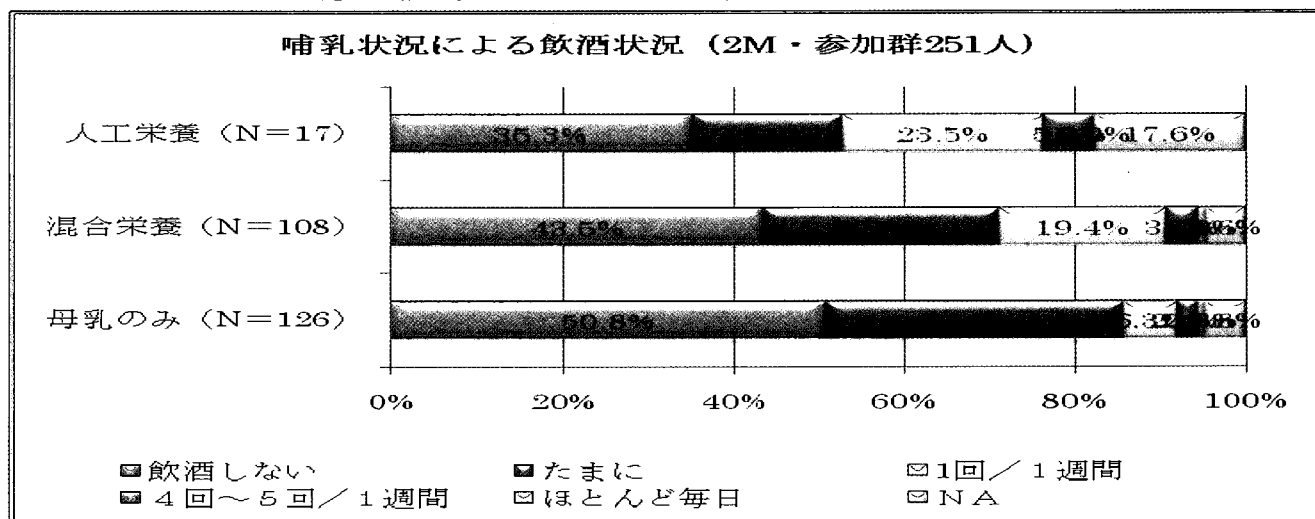
一方「2M・不参加群」では、「飲酒しない」割合は、「母乳のみ」40.7%、「混合栄養」35.8%「人工栄養」33.3%である。

「2M・不参加群」では、「母乳のみ」に飲酒しない割合が高いが、「混合栄養」「人工栄養」との差はほとんどない。

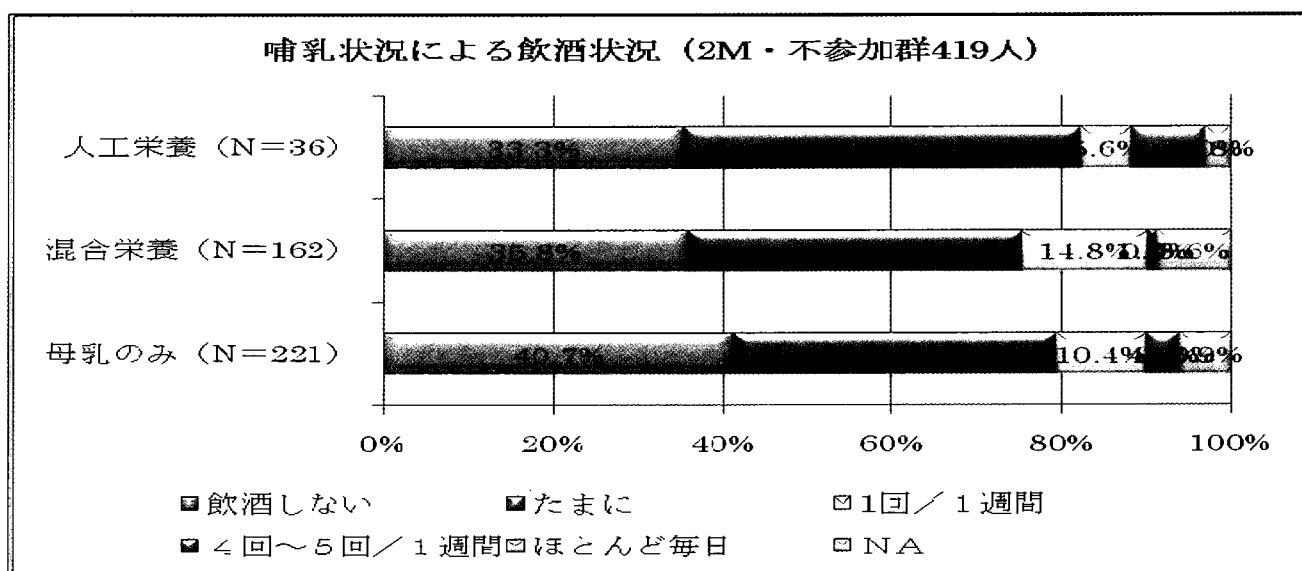
また、「2M・参加群」の「母乳のみ」で「飲酒しない」のは 50.8%であるのに対して、「2M・不参加群」の「母乳のみ」では 40.7%と 10%の開きがあり、「混合栄養」においても 8%の開きがある。

「母乳のみ」「混合栄養」の母乳育児をしている者は、飲酒をしない割合が高いが、「2M・参加群」と「2M・不参加群」を比較すると、「2M・参加群」の方に「飲酒をしていない」割合が高い。

図VI-30 「2M・参加群」の哺乳状況のちがいによる飲酒状況



図VI-31 「2M・不参加群」の哺乳状況のちがいによる飲酒状況



VII 出産後の3～4か月時点 の評価

乳児健診時アンケート調査

Ⅶ 出産後の3～4か月時点の評価

(乳児健診時アンケート調査 回収 392人)

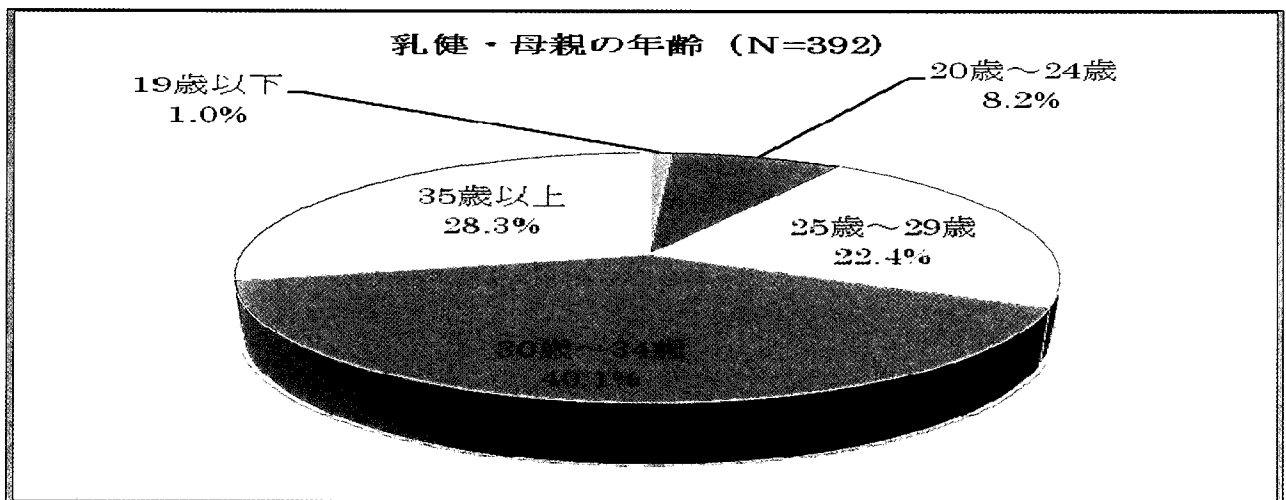
喫煙と飲酒の教育について、出産後における知識と意識変容、行動変容を評価するために、出産後3～4か月の時点でアンケートを実施した。乳児健診時にアンケート用紙を配布し、帰宅後に記載し、郵便で返送していただく留め置き回収法で実施した。アンケートを実施したのは、保健所・保健センターで実施している、出産後3～4か月に実施する乳児健診である。アンケート配布数700人中、392人(56.0%)の回収を得た。乳児健診における回答者のうち、母親学級を受講した母親74人(以下「乳健・参加群」という。)については、知識の持続、意識変容の継続、行動変容を評価し、受講していない母親318人(以下「乳健・不参加群」という)については対照群とした。

1. 乳児健診における回答者の概要(属性)

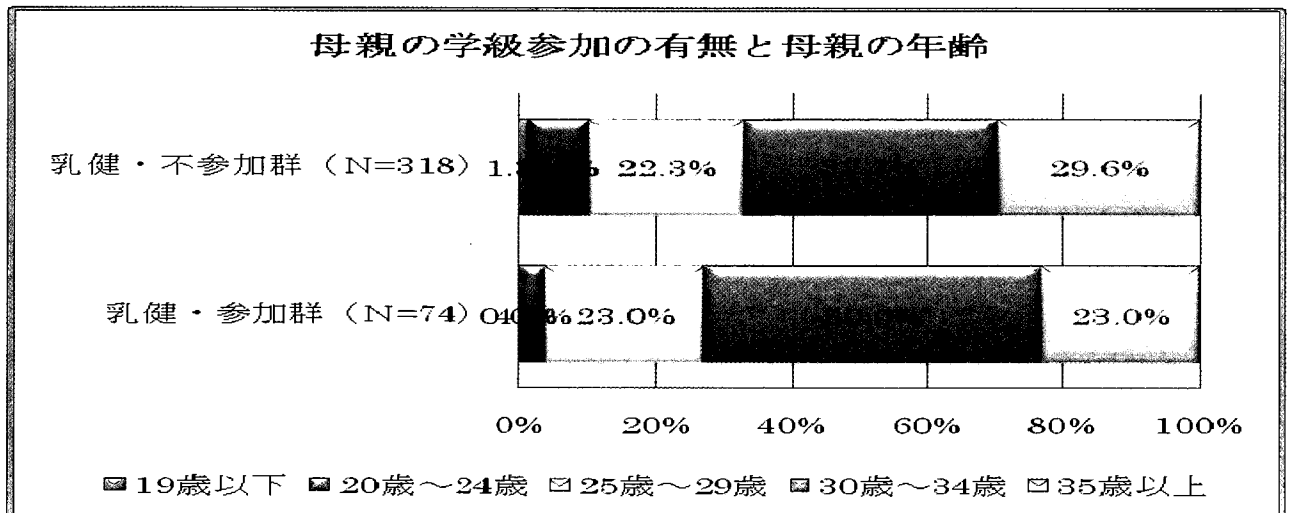
①母親の年齢

乳健診における回答者の年齢構成を図Ⅶ-1に示した。また、「乳健・参加群」と「乳健・不参加群」それぞれの年齢構成を図Ⅶ-2に示した。

図Ⅶ-1 母親の年齢



図Ⅶ-2 「乳健・参加群」・「乳健・不参加群」の母親の年齢

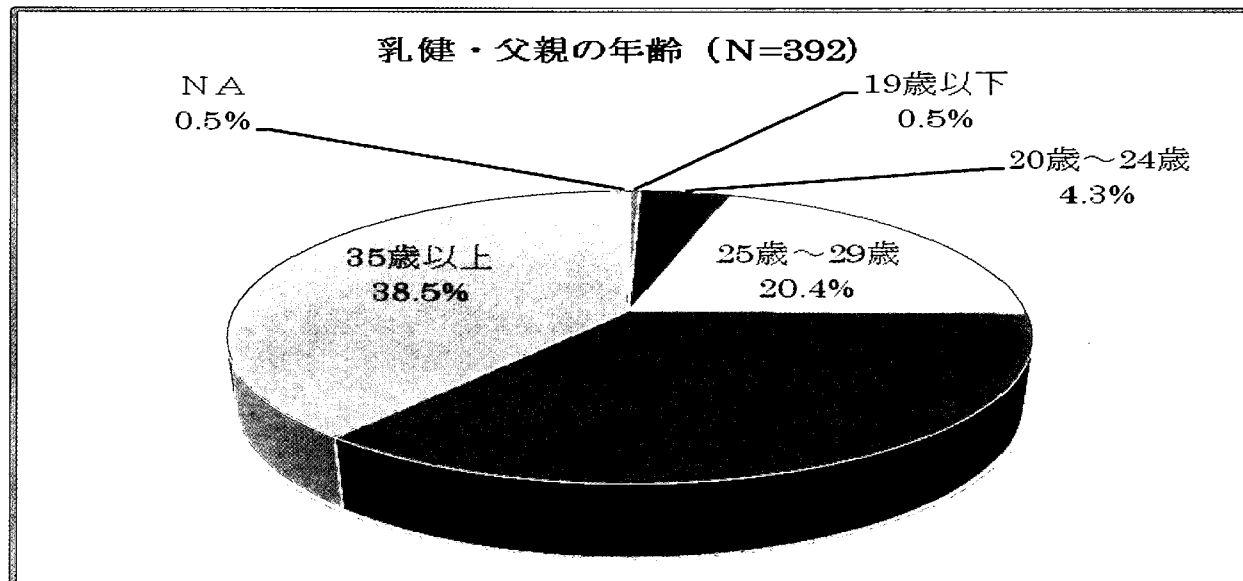


②父親の年齢

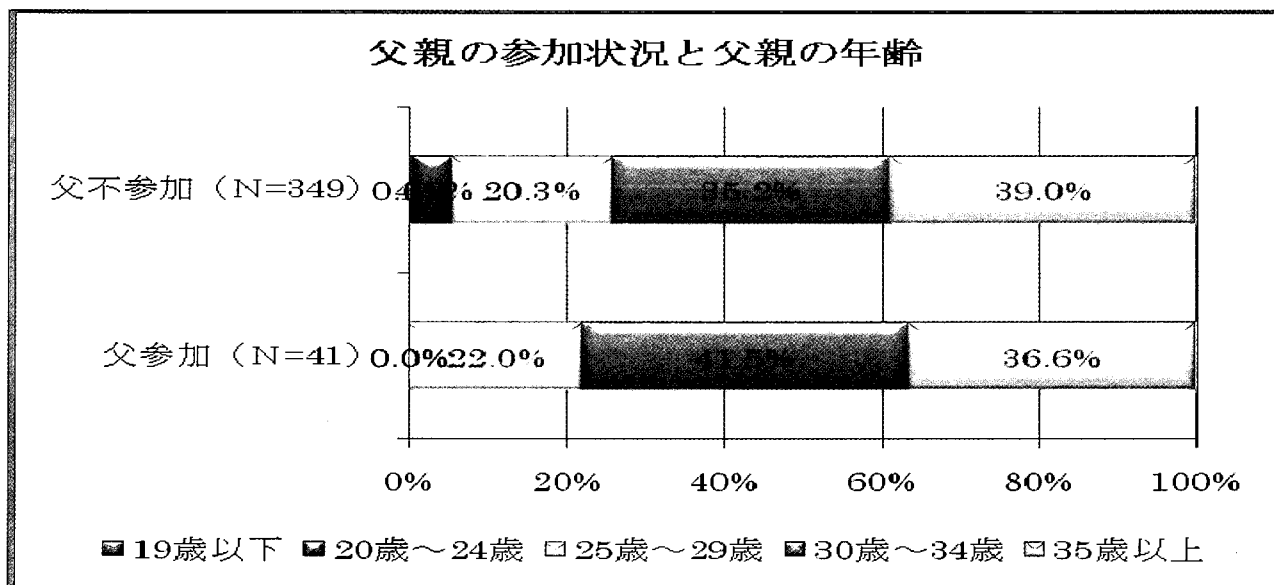
乳健診における回答者の父親の年齢を図VII-3に示した。また、父親の乳健参加群と乳健不参加群の年齢構成を図VII-4に示した。

父親が母親学級を受講したのは41人であり、受講していないのは349人である。

図VII-3 父親の年齢



図VII-4 父親の母親学級参加の有無と父親の年齢

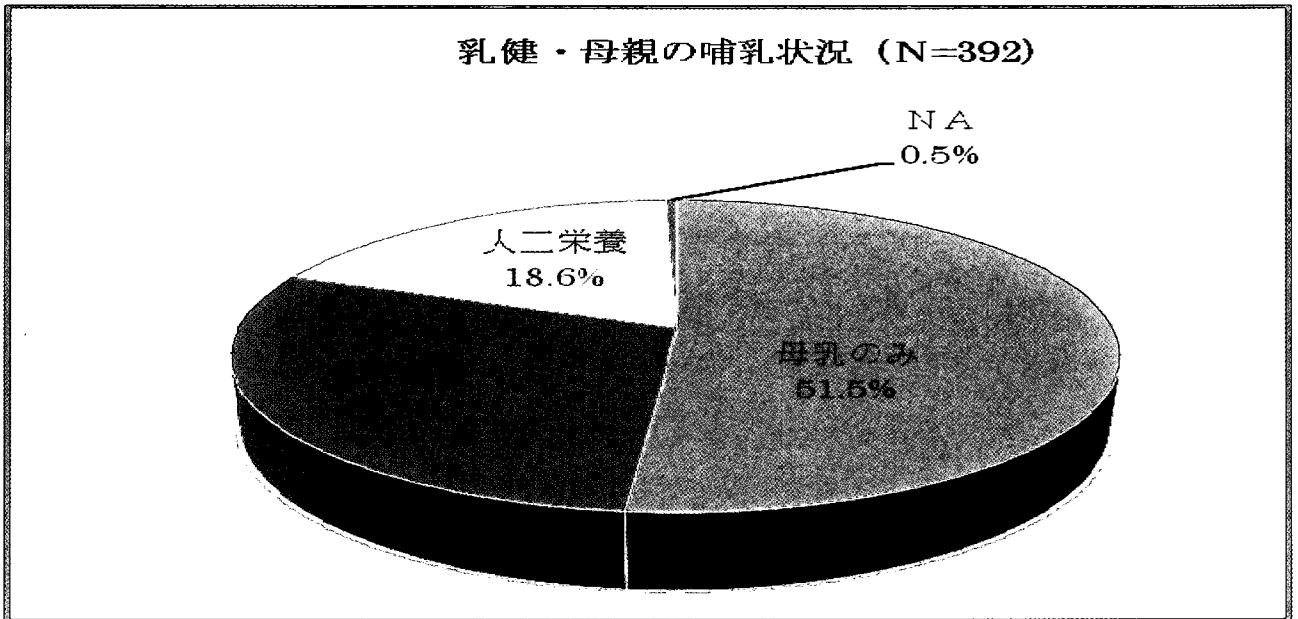


2. 哺乳状況

① 哺乳状況

乳児健診時（出産後 3～4 か月）の哺乳状況を図VII-5 に示した。51.5%が「母乳のみ」であり、「混合栄養」を含む母乳育児を行っている割合は 80.8%である。

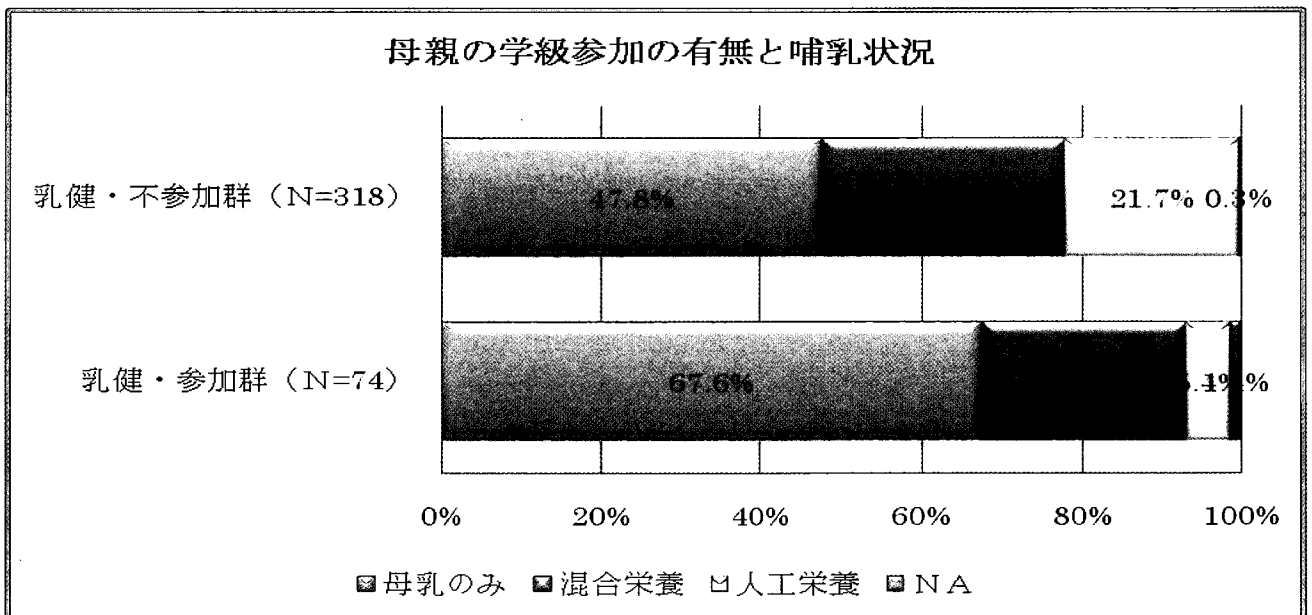
図VII-5 出産後 3～4 か月時点の哺乳状況



② 「乳健・参加群」・「乳健・不参加群」の哺乳状況

乳児健診回答者の哺乳状況を「乳健・参加群」・「乳健・不参加群」で分類し、図VII-6 に示した。「母乳のみ」と回答したのは「乳健・参加群」67.6%、「乳健・不参加群」47.8%で、参加群に「母乳のみ」の割合が高く、20%の開きがある。

図VII-6 「乳健・参加群」・「乳健・不参加群」の哺乳状況



③出産後2か月時点と3～4か月時点の哺乳状況の変化

哺乳状況を2か月児の会時（全員）と乳児健診時（全員）とで比較し、図VII-7に示した。出産後2か月時点と3～4か月時点とも「母乳のみ」は51%程度であり、ほぼ同じ割合である。

しかし、2か月児の会では「混合栄養」が40.3%「人工栄養」が7.9%に対して、乳児健診時では「混合栄養」が29.3%「人工栄養」が18.6%と変化している。

図VII-7 出産後2か月と3～4か月の哺乳状況

